



塩谷の海が見渡せる「海辺の家」

～畑と釣りとパン作りのスローライフ～ 「塩谷の海に魅せられ移住」

2000年に塩谷の海が見える場所に家を買われた小川博夫さん・リア スミスさんご夫妻。

決めてとなったのは「海のそばの古い家で畑があること」。

環境を少しずつ整備しながら、2009年に仕事を定年退職されたご主人の小川さんは、ここに定住されました。少しでも自給自足になるような生活がしたかった小川さんは、晴耕雨読の毎日で、天気の良い日は自前の船で釣りにも出ます。奥さんのリア スミスさんは、週の前半は広島市に住み、英会話教室をされ、週の後半は、塩谷の家でご主人と共に過ごされます。

料理好きのリアさんは、味噌・パン・梅干し・ドレッシングなどが得意とのこと。

現在お二人はいない安浦青空市に参加し、パンやお寿司を販売したり、自宅横のログハウスで時折、料理教室やパン教室を開き、地域との交流を深めています。

塩谷の海に魅せられたお二人は、いつまでもこの豊かな自然を愛し続けていきたいと語っていました。



小川博夫さん・リアスミスさんご夫妻

138年の歴史に幕

野路東小学校のあゆみ



野路東小学校の前身、女子畑小学校旧校舎
明治16年



野路東小学校校舎
大正末期ころ



野路東小学校講堂落成記念
昭和27年



桜開花の校舎

野路東小学校

閉校式 平成23年3月27日(日) 午前9時30分から

呉市立野路東小学校は、明治6年(1873)旧女子畑村「小学校明倫舎」として創立し、これまでに多くの卒業生を送り出してきました。しかし、平成23年3月31日をもって閉校し、138年の長い歴史に幕を閉じることになりました。現在は25名の児童が学んでいますが、5年生までの児童は、4月からは呉市立内海小学校へ通学することになります。

また、子どもたちの誇りでもある野路東太鼓は、女子畑地区の伝統文化として今後も継承していきます。

これからも子どもたちの成長を温かく見守っていきましょう。



野路東小の全児童たち

頑張れ! 野路東小の児童たち!



見て・触って・食べて

第4回 安浦かき祭り

三津口湾の
アマモに育てられた
自慢のかきを堪能!

安浦冬の味覚の代表といえば、今が旬のかき。

今年で4回目を迎える「安浦かき祭り」が、来る2月27日(日)に開催されます。

安浦漁協青年部「若部海(わかぶかい)」を中心に、地元海の幸・山の幸をふんだんに取りそろえています。

大人気の自分で焼いて食す「かき炉端焼きコーナー」をはじめ、かき飯、かきフライなど、安浦かきをふんだんに使い格安で提供します。

また、イブニングフォーでおなじみの料理研究家「白樺悦味先生」の簡単料理実演や子どもに人気の「ふわふわドーム」コーナーもあります。

若部海の海長である山根周志さんは、「子どもから大人まで楽しめるイベントを企画し、かきを通じて、安浦の良さを知ってもらいたい。」と意気込んでいます。

- 開催日: 平成23年2月27日(日)
- 時 間: 午前9:00～ 売り切れ次第終了
- 場 所: 呉市安浦町中央8丁目
「実成新開グランド」
駐車場あり(230台)

■お問い合わせ
安浦漁業協同組合
「若部海(わかぶかい)」
電話: 0823-84-6331(山根水産)

■当日、会場周辺の渋滞が予想されますのでご注意ください。

歌 っ て 踊 っ て 演 じる 「安浦ミュージカル」

「武智丸」という船をご存じですか。三津口湾内にある2隻の船です。

戦時中、物資の乏しい時代にコンクリートで造られ、輸送船として活躍していました。

防空壕・高射砲跡・安浦海兵団兵舎など戦時中の遺跡も消えていくなかで、武智丸は防波堤として生まれ変わり、長く安浦の移り変わりを見守って来ました。

今回のミュージカルは、この「武智丸」を舞台に繰り広げられる野良猫たちと若者たちの交流を描いたもので、「夢と命の尊さ」がテーマです。

今年で10回目を迎える、安浦ミュージカル「くれない族とのら猫たち」を是非ご鑑賞ください。

■第10回 安浦ミュージカル
くれない族とのら猫たち ～武智丸を囲んでのら猫の座談会～

■日 時: 2011年3月13日(日)
■公演時間: 1回公演/開演 午後13時30分～
2回公演/開演 午後17時30分～

■場 所: 呉市安浦公民館きらめきホール

■入 場 料: 1,000円

■お問い合わせ先: 安浦生涯学習振興財団 84-7987

※チケットは安浦公民館で好評販売中です。



とんどあちこち

寄り、燃やした火で餅を食べ健康を祈願するものです。

過疎化などで徐々に作る地域が減少しているなか、地域が協力し合ってとんどを焼き、人との交流・懐かしい人との出会いなど、大切なコミュニティの場であり、これからも続いてほしいものです。

まちづくり協議会からも伝統文化継承事業として、もち米を配布して、とんど文化の継承をサポートしています。

各自治会のとんど



奥条地区



いなし(市原・中畑・下垣内)地区



跡条・向野原地区



中央ハイツ地区



市迫地区

伝統行事のとんど焼きが、1月9日の安登岡谷自治会を皮切りに、2月中旬にかけて、22自治会の各地域で開催されました。古来からの年中行事のひとつで、正月飾り、書き初めを持ち

隠れた文化遺跡 猪鹿垣(シシ垣) って知ってる？

安浦町の原畑・内平地区にある史跡「猪鹿垣(ししがき)」

この猪鹿垣とは、田畑を荒らすイノシシや鹿などの進入を防ぐため石を積み上げた石垣のことを言います。

安浦の猪鹿垣の歴史は古く、江戸時代の文化9年(1812)から10年にかけて完成。完成当時の延長は6.5km、高さ約1.5m中国地方最大と言われ、現存する歴史的な遺構が残る数少ない史跡スポットでもあります。

工事総額は、当時の内平村の年間予算に相当する大工事であったと古文書にも記されており、先人が命をかけて、山に築き上げた当時の苦勞した面影が偲ばれます。

現在は、自然崩壊や原野になり全体を見ることはできませんが、一部の石垣と完成の石碑が残っています。県文化百選に選ばれています。



小・中学校が連携！「みちクリーン活動」



平成22年11月2日、安浦中学校区小中一貫教育「みちクリーン」活動が開催されました。

安浦地区の小・中学校が連携し、各学区を安浦地区公衆衛生推進委員と一緒に清掃することで、児童が地域の一員であることと、環境に対する意識を育てることを目的に実施されました。

目に見えない所に沢山の空き缶やゴミが捨てられていることに児童たちも驚いていました。

参加した児童からは、「ゴミを捨てるのは簡単だけど拾うのは大変なことがわかった」や「これからは安浦がきれいになるよう清掃して、ホタルやメダカを増やしたいです」などの声が寄せられました。

この清掃活動により、燃えるゴミ84袋、燃えないゴミ34袋、総量520kgのゴミが児童たちの手で回収されました。



ドッジボールチーム「ファルコンズ」

『ファルコンズ』は、協調性・向上心をチームカラーとし、何事も自ら進んで努力することができる人間づくりを目指しています。

仲間とのふれあいを通じ、練習を楽しみ、試合に負けて悔しがり、勝って喜び…。子どもたちはそんないろいろな感情をドッジボールを通じて体験し、スポーツマンシップ・フェアプレー・自己精進の大切さを学びます。

ご参加お待ちしております。

■対象者：小学校1年生～6年生

■練習日：2011年4月8日(金)から
毎週金曜日 17:15～19:15

■練習場所：内海小学校体育館

■必要なもの：体育館シューズ・体操服またはジャージ

■練習参加費：800円/月

■お申込み・お問い合わせ先

地域ネットくれんど(担当：広兼)

電話：0823-84-3731 Fax:0823-84-4041

E-mail:raku@ceres.ocn.ne.jp

メンバー募集!!

みんな一緒にやろうヨ!!



ターザンロープウェイ



ツイストモック



手押しポンプ水遊び

みんな元氣だ!

町民の健康と憩いの公園が完成!

安浦駅北の土地区画整理地の一角に、新しい公園がオープン。公園名は「安浦駅北3号公園」です。

地域の憩いの場として、子どもはもちろん、ウォーキングの途中に立ち寄って健康づくりなど、だれもが元気に交流できる内容になっています。

また、緊急の災害時には、ベンチがかまどに変わる「かまどベンチ」も整備、多目的に使える場所になります。

今後は、公園横にあるコンクリート壁に壁画を安浦中学校生徒たちが製作することになっています。

安浦駅北側と南側を結ぶ自由通路もまもなく完成。世代間の交流の場として、新しいまちと新しい公園がいよいよ生まれます。

美しいつららに覆われて! 弘法寺 玉すだれの滝

玉すだれの滝は、野呂高原で唯一の滝で、弘法寺から歩いて5分の所にあります。落差20mから流れ落ちる水がすだれのように見えることからこの名前がつけられました。

野呂山の気温がマイナス5度以下になると凍り、つららに覆われて、普段とは違う美しい姿を見せてくれます。

例年、大寒の時期が見頃で、美しい氷の芸術を見ることができます。



季節の風景 「安浦の梅林」

毎年2月中旬から3月初めに満開となる内海頓原地区の梅林を紹介します。

美しく咲き誇る梅の花に思わずため息が洩れそうです。

町内では、これから春の訪れとともに、華麗な花が咲き乱れます。

